

2009年度後期 立教大学「学生による授業評価アンケート」所見票

科目コード EX260	開講曜日 火/水	担当者 原田 久	履修者数 294
科目名 行政学	開講時限 2/2	教室 7101/8201	回答数 108

単純集計結果 (5:大いにそう思う, 4:そう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない, 無回答, エラー)

5	4	3	2	1	無回答	エラー
---	---	---	---	---	-----	-----

I. この授業へのあなたの取り組み方について、以下の項目にどの程度当てはまりますか。

1) 授業全体を通じての出席率 (5:90%以上 4:70~89% 3:50~69% 2:30~49% 1:30%未満)	
2) この授業に積極的に参加した	
3) この授業の履修にあたって十分な準備ができていた	
4) 授業をきっかけにして発展的な勉強をした	
5) シラバス (履修要項の講義内容) は受講に役立った	
6) この授業に関連して、授業時以外に学習した時間 (平均して、1週間に 5:3時間以上 4:2~3時間 3:1~2時間 2:1時間未満 1:0時間)	

II. この授業の進め方は、以下の項目にどの程度当てはまりますか。

1) 聞きやすい話し方だった	
2) 各回の授業内容の量が適切だった	
3) 各回の授業のねらいは明確だった	
4) 各回の授業内容は明確だった	
5) 十分な静粛性が保たれた	
6) 教科書・授業レジュメプリントや参考文献が効果的だった	
7) 板書のしかたが適切だった	
8) 映像視覚教材 (ビデオ、OHC、パワーポイントなど) の使用が効果的だった	
9) 教員は授業の準備を周到に行っていた	

III. この授業からあなたは次のものを得ることができたと思いますか。

1) 自分にとって新しい考え方・発想	
2) 授業で扱った分野に関する基本的な専門知識	
3) 自分で調べ、考える姿勢	
4) 授業で扱った内容が持つ、現代に通じる普遍的な意味	

IV. 総合的にみて、この授業は以下の項目にどの程度当てはまりますか。

1) わかりやすい授業だった	
2) 授業全体の目標が明確だった	
3) 学問的興味をかきたてられた	
4) この授業を受けて満足した	

授業評価に対する担当教員の所見

今年度と一昨年度 (昨年度は在外研究のため担当せず) の授業評価アンケートの結果 (平均点) と比較しながら所見を述べたい。アンケート項目2の9項目のうち8項目で一昨年度の平均点を上回り、そのうち7項目は一昨年同様4.0以上である。また、アンケート3の4項目のうち3項目で一昨年度の平均点を上回り、そのうち3項目は一昨年同様4.0以上である。さらに、アンケート項目4の4項目全てで一昨年度の平均点を上回り、全ての項目で一昨年同様4.0以上である。平均点4.0を下回っているのは17項目中3項目に過ぎない。したがって、一昨年以上に今年度の授業方法や授業内容が学生によって高く評価されたと認識している。また、2005年度からの懸案であった板書の仕方についてはようやく改善がみられた (一昨年度: 2.97 今年度: 3.42)。次回担当するときには2005年度から目標としている4.0を達成したい。なお、2005年度からなお評価の低い (今年度: 2.67) 映像視覚教材、特にパワーポイントの利用については、板書が困難になることや学生への情報伝達量が減少すること等から引き続き導入しない。

記述による評価に対する担当教員の所見

自由記述欄では2005年度から、立教大学法学部の授業1回分の平均「価格」を5000円とした場合、行政学の授業1回に幾ら支払う意思があるのかを尋ねている。その結果、学生1人あたりの「平均的支払意思額 (willingness to pay, WTP) は8007円 (一昨年度比で-394円, 2006年度比で+134円) であった。この数値と「この授業を受けて満足した」という数値が上昇 (一昨年度: 4.36 今年度: 4.5) していることをあわせて考えると、上述したように、今年度の授業方法や授業内容が一昨年度に評価されたと認識している。他方で、複数指摘されたこととしては、(1) 授業中指名する際に指を指さないでほしい (3名)、(2) 講義している内容がレジュメのどこに該当するかが分かりづらい (2名)、(3) 暖房が効きすぎている (2名)、であった。(1) については (仮に授業中の私語や携帯メールを注意する場合でも) 不快感を憶えないよう十分配慮しつつ指名をしたい。(2) については、レジュメに目盛り線を引くこと等で対処したい。(3) は必ずしも講師の責任ではないが、暖房が効きすぎているときには適時に設定温度を下げたい。

改善に向けた今後の方針

上で既述した。